

2013 春の叙勲 おめでとうございます



貴嶋陸博さん
(77歳 稲荷町)
地域に根付いた開業医（眼科）の傍ら、44年間学校医として児童や生徒の健康を見守り続けた功績が認められ、瑞宝双光章を受章されました。



若松修身さん
(75歳 西本町)
46年間の長きにわたり、学校教育や教育行政の多方面において、教育の充実と振興に尽力された功績が認められ、瑞宝双光章を受章されました。

牛尾小児童が市役所見学



5月24日、牛尾小学校3・4年生12人が社会科学習のため来庁しました。

はじめに、市役所の仕事について説明を受け、庁内を見学。最後に訪れた議場では、滅多に体験できない議員席に座り、議会方式で児童からの疑問や質問に市職員が答えました。

子どもたちが、どんな見学場所よりも興味を示したのが、議長としてサプライズ登場した「イーサキング」です。

この日の思い出は、全部キング様で埋まってしまったかもしれませんね。

伊佐市防災会議



伊佐市防災会議は、地域防災計画の作成及び実施の推進や関係機関の連絡調整のため、災害対策基本法に基づいて設置される組織です。市長を会長とし、指定地方行政機関、県職員、県警察官、市職員、教育長、消防長、消防団長、指定（地方）公共機関など29人で構成されます。

5月28日には平成25年度の防災会議が開催され、防災行政に市民の声や専門的知識をさらに反映させるため、意見交換を行い、災害に対する対応について意思統一を図りました。

日本代表として台湾へ



今月18日から10日間、台北で開催される「第2回 IBAF 12U 野球ワールドカップ」に、日本人アンパイアとして市職員の西方淳一さんが選ばれました。野球少年だった西方さんが夢だった甲子園の審判を務めてから2年、夢はステップアップし、国際大会の審判を務めることになりました。16日には、12歳以下の日本代表チームと台湾へ出発することが決まり、「日本の審判として恥ずかしくないジャッジをしたい」と意気込みを語ってくれました。